

もっと詳しく知りたい方へ・・・

女性教育情報センターは、国立女性教育会館内にある、
男女共同参画および女性・家庭・家族に関する専門図書館です。

●文献情報データベース(所蔵検索)

http://winet.nwec.jp/bunken/opac_search/

【検索キーワード】

世界女性会議、北京会議、男女平等、エンパワーメント、ジェンダー など

図書の貸出、新聞記事の複写郵送サービスなどを行っています。ぜひご利用ください！



女性教育情報センターHP



北京+25

～第4回世界女性会議(北京会議)から25年～
女性教育情報センターテーマ展示(7～12月)

(URL) <https://www.nwec.jp/event/center/Beijing25.html>



編集・発行: 独立行政法人国立女性教育会館 情報課
〒355-0292

埼玉県比企郡嵐山町菅谷728番地

TEL:0493-62-6195

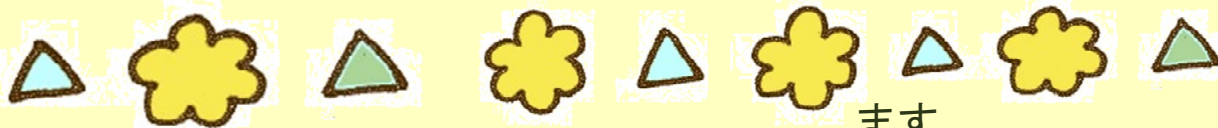
URL:<https://www.nwec.jp/facility/center.html>



発行: 2020年7月

本文中一部書影: amazonより引用





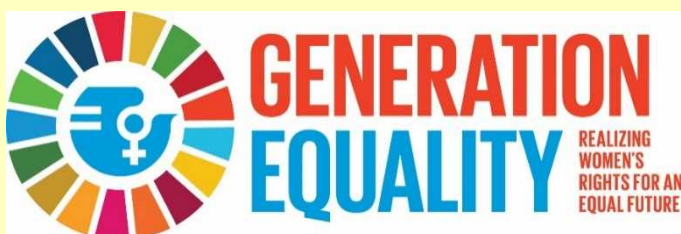
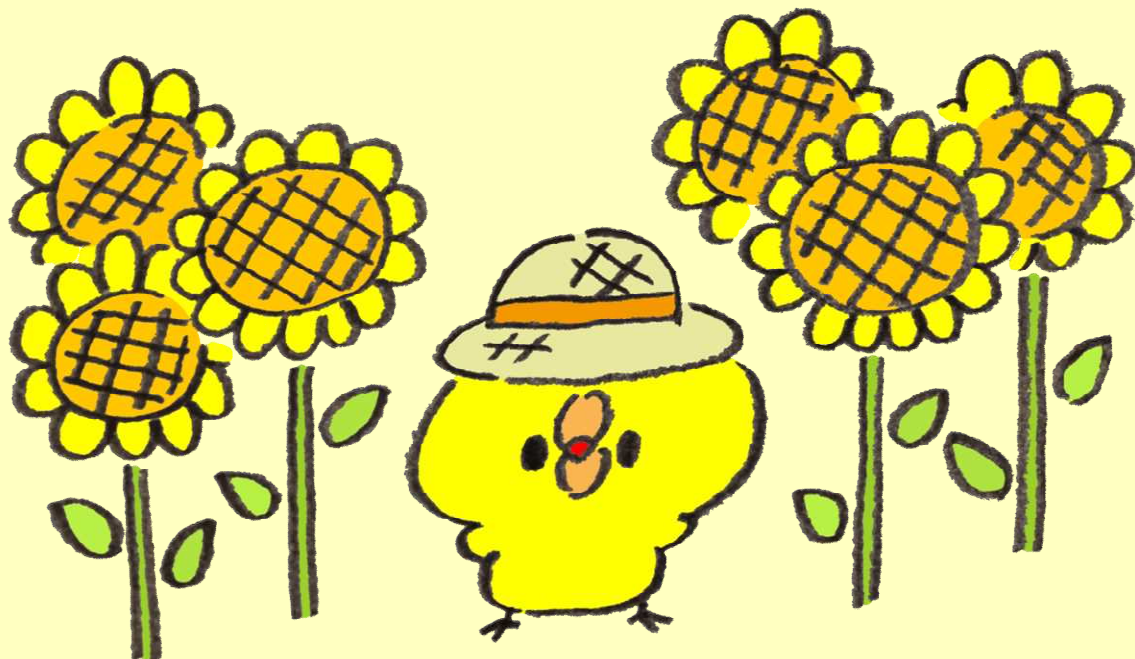
本、あり^{ます}。

-?を!に変える本との出会いを見つけるマガジン-

///Vol.21///

北京+25

～第4回世界女性会議(北京会議)から25年～



Generation Equality(平等を目指す全ての世代)」とは、年齢や国籍、ジェンダーに関わらず、全ての人々が手を取り、あらゆる方面で平等な社会を実現していくことを目的としているキャンペーンです。

<ロゴ>

鳩と持続可能な開発目標(SDGs)の車輪デザインを組み合わせたもの

鳩・・・北京会議のロゴマーク

女性のシンボルと平等のサインを、平和の象徴であるハトに組み込んだデザイン



今年2020年は、1995年に中国・北京で開催された第4回世界女性会議（北京会議）から25年の節目の年です。



世界女性会議の歴史



国際連合は女性の地位向上を目指して、1975年を国際女性年と決めました。

1975年 国際女性年世界会議開催（メキシコシティ）
「世界行動計画」採択
伝統的な性別役割分業の見直し

1980年 国連女性の十年中間年世界会議開催（コペンハーゲン）
「女性差別撤廃条約」署名式。日本も署名

1985年 国連女性の十年世界会議開催（ナイロビ）
「女性の地位向上のための将来戦略」採択

1976年
↓
1985年

国際
女性
の
10
年



第4回世界女性会議開催（北京）

女性の権利を人権として再認識し、女性に対する暴力を独立の問題として扱いました。

NGOフォーラムの参加者は190か国から約5万人と20世紀最大規模で、日本各地からも約5000人が参加しました。
会議では国際的なジェンダー平等をめざす取り組みの指針となる「北京宣言・行動綱領」が採択されました。

2000年 女性2000年会議開催（ニューヨーク）
「北京宣言及び行動綱領実施のための更なる行動とイニシアティブ」（いわゆる「成果文書」）採択



国立女性教育会館 女性デジタルアーカイブシステム

https://w-archive.nwec.jp/il/meta_pub/G0000337warchive



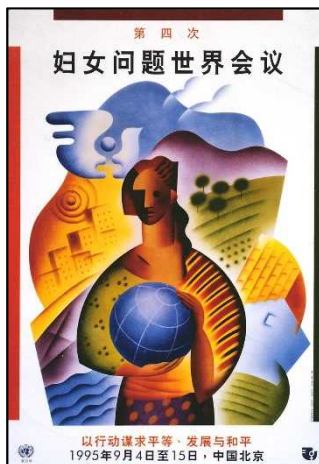
国立女性教育会館女性アーカイブセンターが所蔵する資料の目録と
デジタル画像を提供しています



北京会議に関する資料も
登録されています。
ぜひご覧ください！



北京会議 関連資料



第4回世界女性会議中国語ポスター

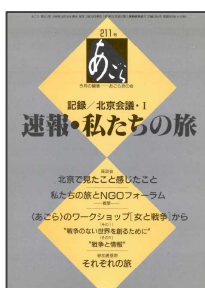


NGOフォーラム 開会セレモニー



国立女性教育会館 リポジトリ

<https://nwec.repo.nii.ac.jp/>



●日本女性のミニコミデータベース

NWEC所蔵のミニコミ誌の中で、目録と公開の許諾が得られたものはデジタル化して提供しています。

「あごら」等、北京会議に参加した女性たちが発行した資料
をご覧ください。



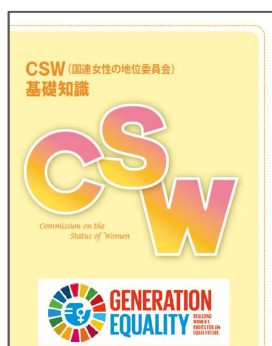
北京会議から25年が経った今でも、
まだ課題は多くある・・・。
これからもジェンダー平等を推進していくことが
重要なんだ。

『知る・わかる・伝えるSDGs :
貧困・食料・健康・ジェンダー・水と衛生』
阿部治,野田恵編著 学文社 2019

SDGs (持続可能な開発目標)のゴール5にジェンダー平等が掲げられています。目標のルーツや日本の現状や課題、実践など、SDGsを初めて知る人にも分かりやすく解説されています。実践の中でNWECCの取り組みも紹介されています。

『JAWW NGOレポート : 北京+25に向けて』
JAWW 2019

JAWW(Japan Women's Watch 日本女性監視機構)によるNGOレポートです。
北京行動綱領に沿った12領域に加え、ユース、男性・男児の役割、マイノリティなど全21領域について、幅広い視点から、データや実例を用いて日本の現状とこれからの課題を記しています。



『CSW(国連女性の地位委員会)基礎知識』
国立女性教育会館 2020

CSW (国連女性の地位委員会)は、国連経済社会理事会 (ECOSOC)の機能委員会のひとつで、グローバル政策決定機関として、ジェンダー平等と女性の地位向上に取り組んでいます。CSWのミッションや歴史、過去25年間の年間テーマ、日本の男女共同参画政策に与えた影響について解説した資料です。

<資料ダウンロードはこちらから>

<https://www.nwec.jp/about/publish/jpk9qj00000009ip.html>



北京宣言・行動綱領って
どんなもの？

世界の女性たちが直面する貧困や教育など12の
重大領域が盛り込まれ、課題解決のために各国が
取るべき策や行動指針が書かれているんだ。
今でも国際的な取り組みの指針となっているよ。



行動綱領 12の重大問題領域



貧困	教育と訓練	健康	暴力
武力紛争	経済	権力と意思決定	制度的な仕組み
人権	メディア	環境	女兒

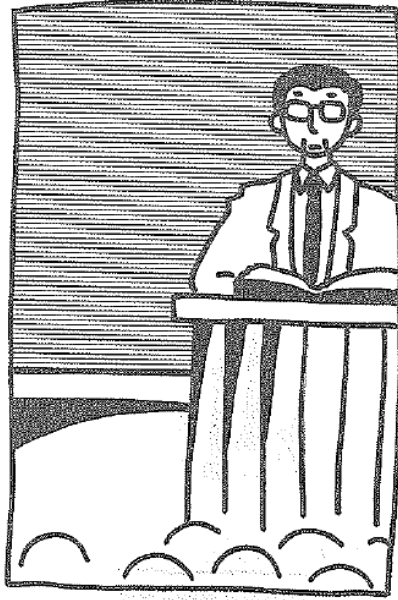
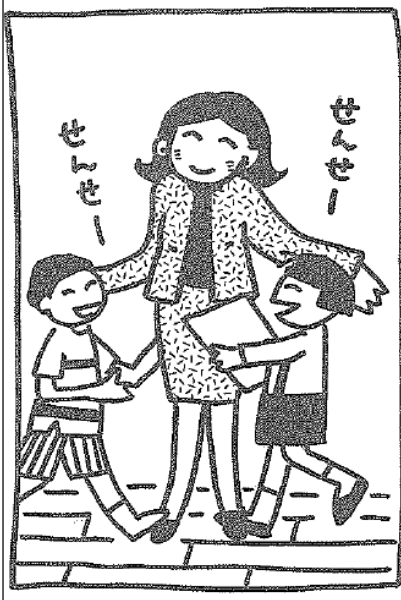


『Open sesame! ひらけごま :
イラストでよむ北京世界会議「行動綱領」』
プラウ・プロジェクト制作 プラウ・プロジェクト 1997

行動綱領のそれぞれの領域について、日本の状況をイラストや
マンガを用いてわかりやすく紹介しています。

* 本書掲載イラストは、利益を目的としない活動などに自由に転載利用ができます

女の先生は本当に多いのか



幼稚園・小学校では女の先
生は半数以上。でも、中学
校以上になると、ガクッと
少なくなります。

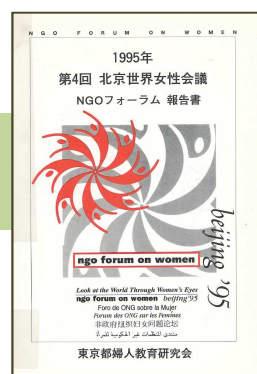


日本全国から多くの女性たちが北京会議NGOフォーラムへ参加しました。会期中には5,000ものシンポジウムやワークショップ、パネル展示、パフォーマンスなどが行われ、主体的に参画しました。



『北京からのメッセージ：
第4回世界女性会議及び関連事業等報告書』
総理府内閣総理大臣官房男女共同参画室編
大蔵省印刷局 1996

『1995年第4回北京世界女性会議NGOフォーラム報告書』
小原寿美編 東京都婦人教育研究会 1995



『第4回世界女性会議NGOフォーラム派遣団報告書』
埼玉県第4回世界女性会議NGOフォーラム派遣団
埼玉県県民部女性政策課 [1996]

女性教育情報センターでは、一般には販売されていない地方行政資料や女性団体の資料も多く所蔵しています！



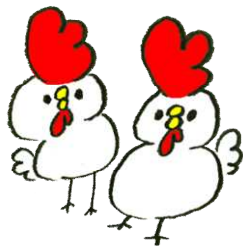
【文献情報データベース(所蔵資料を調べる)】

https://winet.nwec.jp/bunken/opac_search/?smode=1



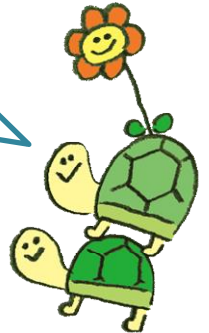
【検索キーワード】

世界女性会議、北京会議、男女平等、エンパワーメント、ジェンダーなど



北京会議からどんなことが変わったのかな？

北京会議の行動綱領に基づいて、男女雇用機会均等法にセクハラに関する項目が盛り込まれたり、男女共同参画社会基本法(1999)や、ストーカー規制法(2000)、DV防止法(2001)などが制定されたよ。



『男女平等はどこまで進んだか：女性差別撤廃条約から考える』

国際女性の地位協会編 岩波書店 2018

国連で「女性差別撤廃条約」が採択された1979年から現代まで、どのくらい男女平等が進んだか、またどんな課題があるのか。進路選択や女性の働き方、結婚など、自分の生活と結びつけて考えることができます。巻末には条約の対訳や解説、選択議定書も掲載されています。

『女性学・男性学：ジェンダー論入門 第3版』

伊藤公雄, 樹村みのり, 國信潤子著 有斐閣 2019

北京会議では、初めて公式にジェンダー(社会的文化的性差)という言葉が使われました。本書はジェンダー論の入門書です。基礎知識の講義やマンガ、ワークショップ型のエクササイズ、読書案内など様々な視点から書かれています。ジェンダー問題について幅広く知り、考えることができる一冊です。

令和元年版
男女共同参画白書



内閣府

『男女共同参画白書 令和元年版』

内閣府男女共同参画局編 勝美印刷 2020

日本の男女共同参画社会の現状に関する年次報告書です。元年版のテーマは「多様な選択を可能にする学びの充実」です。女性の教育や学びの進展、進路選択、社会人の学び、生涯学習などに関する現状や取組事例の紹介、今後の課題を明らかにしています。